



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録 対象：ブラック・コーカス地元学生（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から大学生及び社会人 22 名が 2019 年 3 月 10 日～3 月 17 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：22 名

【訪問地】

東京都、北海道

2. 日程

- 3/10(日) 来日
- 3/11(月) 【講義】日本 MGM リゾーツ代表執行役員兼社長、元在日米国大使館臨時代理大使 ジェイソン・P・ハイランド氏
【オリエンテーション】
【視察】国会議事堂
東京都から北海道へ移動
- 3/12(火) 【視察】北海道博物館
【文化体験】峯光寺 座禅・書道体験
【ホームステイ対面式】
- 3/13(水) 【ホームステイ】
【ホームステイ歓送会】
- 3/14(木) 【学校交流】北海道大学公共政策大学院
【ワークショップ（報告会準備）】
- 3/15(金) 北海道から東京都へ移動
【成果報告会】
- 3/16(土) 【視察】江戸東京博物館
【視察】東京都庁

【視察】お台場
3/17(日) 【歴史的建造物】浅草
離日

3. プログラム記録写真



3/12【視察】北海道博物館



3/12【文化体験】
峯光寺 座禅・書道体験



3/12【ホームステイ対面式】



3/13【ホームステイ歓送会】



3/14【学校交流】北海道大学



3/14【学校交流】北海道大学

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 米国 社会人

元外交官の基調講演は非常に有意義なものでした。講義ではより日本文化の中への溶け込み方や日本での外交の仕事に従事する方法などを教えてくれました。国会議事堂の見学は特に好きなプログラムの一つでした。私自身、米国議会でフェローとしての経験があったので、米国議会との比較をすることができ、類似点と相違点を知ることができたのはとても良かったです。学校交流は素晴らしかったです。日米の政策に対する考え方の共通点を北海道大学の学生から聞くことができ、特定の問題について最善の政策・実践をお互いに学びあうことができました。ホームステイも非常に良かったです。私は旅行をする時にその国の文化に溶け込むことが好きなので、ホームステイをすることで夢が叶いました。私はホストファミリーが大好きになり、その親切なもてなしに心を打たれました。私は、ホストファミリーから多くのことを学ぶことができ、またホストファミリーも私からアメリカについて学ぼうとしてくれました。

◆ 米国 学生

このプログラムは非常に興味深かったです。すべてのプログラムを堪能しました。元外交官の講義を聞く素晴らしい機会を得ることができ感謝しています。他の陣と合同での講義だったので、外交に関してより深い質問ができなかったのが残念です。学校交流では、町議会議員や大学院生と公共政策に関して非常に有意義な議論を行いました。知見を深めることができ、強く印象に残る交流となりました。最後のホームステイでは、ホストファミリーから日本習慣・文化を学ぶことができ、最も心に残るプログラムとなりました。私は、この経験を一生大切にします。本やインターネットからでは得られない、実際に自分で体験したからこそ多くのことを学ぶことができ、本当に素晴らしい経験となりました。今後、ブラック・コーカス地元学生のプログラムがより一層充実したプログラムになり、より多くのブラック・コーカスを支持する社会人や大学院生がカケハシ・プロジェクトに参加できる機会がもてるよう願っています。

◆ 米国 社会人

アイヌ民族が日本国北部周辺における先住民族であると認められるように努力してきたことを知り、深く感銘を受けました。北海道博物館に来て、アイヌ民族の存在を知りました。日本国と相互に影響し合いながら共存してきた歴史や今日のアイヌ文化の振興の取り組みを学び、強く心を打たれました。ホストファミリーと温泉に行ったのも目を見張るような経験でした。ホームステイ中に様々な方々と交流し、ホストファミリーとゆっくり過ごすことができたのは本当に良かったです。座禅や習字体験もお気に入りのプログラムの一つでした。座禅を実際に体験することで座禅の大切さやどれだけ体のためになるのかが分かり、有意義な時間となりました。

5. 受入れ側の感想

◆ ホストファミリー

小学校の見学に行きました。ウエルカムパーティを開いてくれて、日本の伝統的な遊びと一緒にしました。

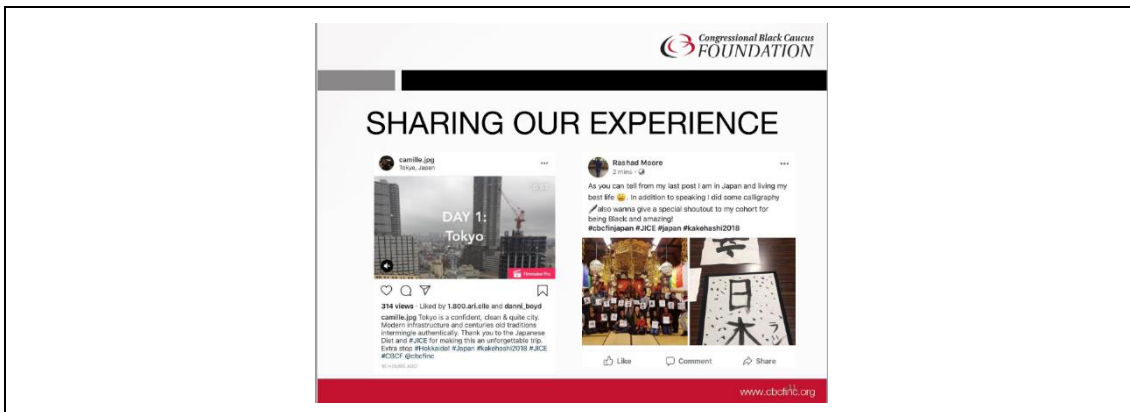
◆ ホストファミリー(抜粋)

3人とも少食でしたが、食事はとても喜んで食べてくれました。朝食後、温泉で心身ともにリラックスできた様子でした。温泉は、3人のリクエストだっただけに浴場でのマナーはよく、慣れているという印象でした。

6. 参加者の対外発信

 314 views · Liked by 1.800.ari.elle and dann_i_boyd camille.jpg Tokyo is a confident, clean & quite city. Modern infrastructure and centuries old traditions intermingle authentically. Thank you to the Japanese Diet and #JICE for making this an unforgettable trip. Extra stop #Hokkaido! #Japan #kakehashi2018 #JICE #CBCF @cbcfinc 16 HOURS AGO	 17 likes thewarpaintedface_ Yesterday, we arrived to the Northern Island of Hokkaido, Japan. Our first stop was the Hokkaido Museum where we learned about the Ainu indigenous people.
国会議事堂についての発信 (Instagram) 東京は自信に満ちた、きれいで閑静な街です。現代的な建物と何世紀もの時代を経た建物とが完全に融合しています。このような忘れられないプログラムを提供してくださった日本政府に感謝します。	北海道博物館についての発信 (Instagram) 昨日最北の県、北海道に到着しました。私たちが最初に立ち寄った北海道博物館ではアイヌ先住民族について学びました。日本でアイヌ民族が経験してきたことがアフリカ系アメリカ人の人々と相似している点に心を惹かれました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



アクション・プランの発表

リンクドイン、フェイスブック、インスタグラムなどのソーシャルメディアを使い、今回の経験を多くの人と共有する。

今回の訪日団とブラック・コーカスの職員はソーシャルメディア（ハッシュタグをつけて投稿したり、インフルエンサーと協力する）、ブログ（ウェブサイトのブログに投稿する）、写真や映像、直接またはデジタルな媒体上での対話、ブラック・コーカス財団のホームページ（記事を寄稿する）を通じて今回の経験を共有する。具体的には、2000 年世代、1960～70 年世代や企業・業界のリーダー、大学・学院生、同窓、若者の専門家などに対して文化的な気づきを共有し、黒人系/アフリカ系アメリカ人が国際的に往来することが正常化し、異国籍間での結束を強めることを目的としていきたい。